

週間漁海況情報—第41号

平成22年10月25日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

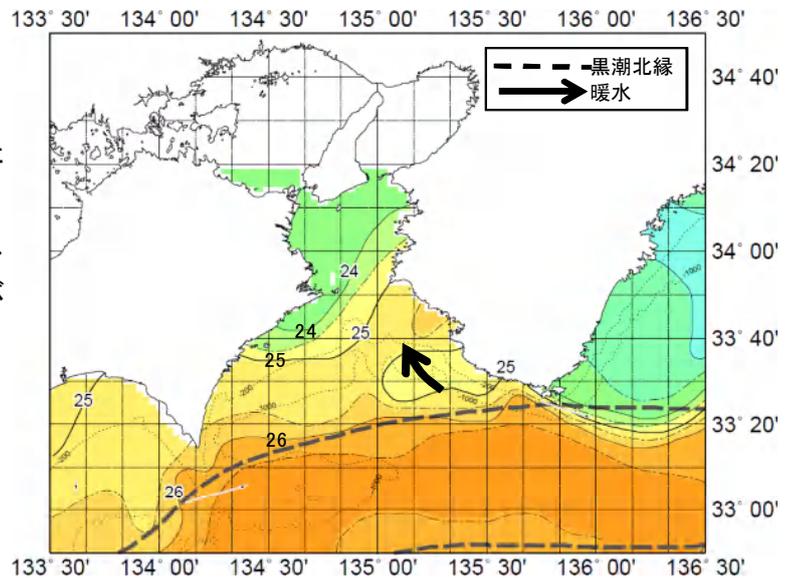
右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H22.10.25）を示した。

黒潮は、室戸岬沖および潮岬沖で接岸している。室戸岬以西では、都井岬沖および足摺岬沖で接岸している。

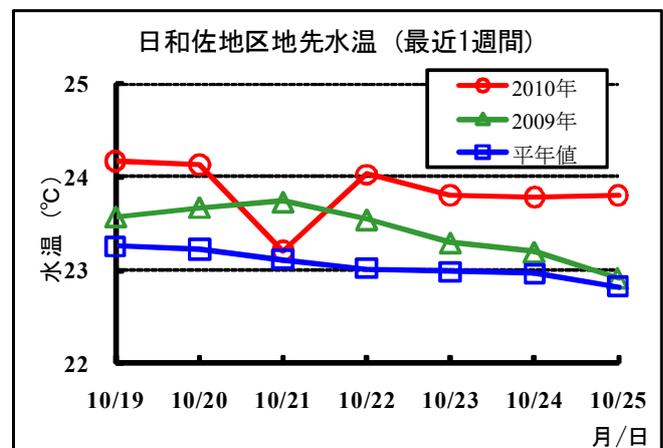
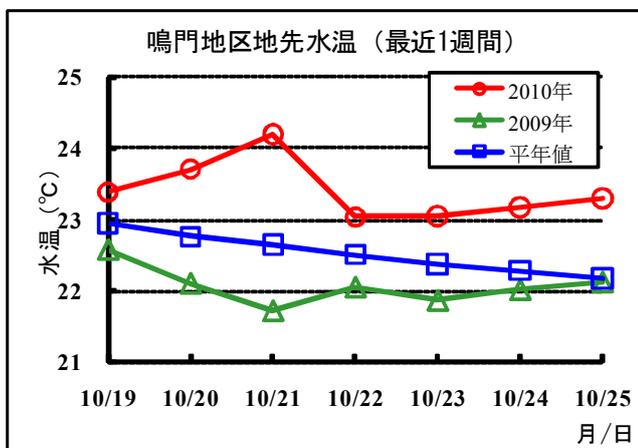
黒潮本流の表面水温は、25～26℃台である。

徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で23℃台、紀伊水道で23～24℃台、海部沿岸で23～25℃台である。

紀伊水道外域では、先週に引き続き和歌山県沿岸から暖水が流入している。また、暖水の一部は紀伊水道内部に進入している。伊島の北東から南西方向にかけて、内海系水と黒潮系水の潮境が形成されている。海部沿岸上灘では、23～24℃台の内海系水に覆われており下り潮の様様。



地先水温 最近約1週間の地先水温は、鳴門地区で「平年並み」～「高め」の23.0～24.2℃、日和佐地区で「平年並み」～「やや高め」の23.2～24.2℃、牟岐地区は「平年並み」～「高め」の23.1～24.5℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 海況の経過

延縄：海部沿岸で、小主体にタチウオが0.3トン(1日1隻当たり11kg)水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、アオリイカが0.2トン(同3kg)、アカカマスが2.0トン(同30kg)、小主体にマアジが0.4トン(同5kg)、小主体にマルアジが2.0トン(同29kg)、マルソウダが0.7トン(同11kg)、ムロアジが0.6トン(同9kg)、ヤマトカマスが0.3トン(同4kg)水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、中主体にアオリイカが0.4トン(同4kg)、特大主体にカツオが1.9トン(同18kg)、小主体にタチウオが0.5トン(同4kg)、メジロが0.2トン(同2kg)、中主体にヨコワが1.5トン(同14kg)、紀伊水道で、中主体にサワラが0.6トン(同30kg)水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが173.6トン(同1,085kg)水揚げされた。

漁業種類別集計表(抜粋) 10月18日～10月24日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	タチウオ	31	327	11	小主体
小型定置網		アオリイカ	68	207	3	
		アカカマス	68	2,041	30	
		マアジ	68	371	5	小主体
		マルアジ	68	1,980	29	小主体
		マルソウダ	68	732	11	
		ムロアジ	68	599	9	
		ヤマトカマス	68	264	4	
釣り	海部沿岸	アオリイカ	107	394	4	中主体
		カツオ	107	1,885	18	特大主体
		タチウオ	107	470	4	小主体
		メジロ	107	221	2	
		ヨコワ	107	1,493	14	中主体
		サワラ	20	590	30	中主体
パッチ網	紀伊水道	シラス	160	173,600	1,085	

週間予報：黒潮は室戸岬沖で「接岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「やや高め」～「高め」の22℃台後半～23℃台、日和佐地先は「やや高め」の23℃台で推移する見込み。

他県情報：宮崎県のパッチ網でシラスが25.3トン(1日1隻(統)当たり1.6トン)水揚げされた。

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の10月26日～11月1日には、海部沿岸の小型定置網で中主体にタチウオ2.0トン、ヒラソウダが1.3トン、釣りでアオリイカが1.1トン、大・小主体にタチウオが4.2トン、紀伊水道の釣りでサワラ0.8トン、紀伊水道のパッチ網でシラス4.8トンが漁獲されていた。